

令和5年度 第6回

宍粟市教育委員会

会 議 録

(要点筆記)

日時 令和5年9月15日 午前9時30分から

場所 宍粟市役所 4階 402・403会議室

第6回（定例）宍粟市教育委員会会議録

● 開会・閉会の年月日時及び場所

令和5年9月15日（金） 午前9時30分～10時40分

兵庫県宍粟市山崎町中広瀬133番地6 宍粟市役所 4階 402・403会議室

● 会議に出席した者の職氏名

教育委員

中田直人 教育長

片山繁樹 委員

飯田さおり 委員

金本一二 委員

中川まゆみ 委員

事務局

大谷奈雅子 教育部長

大砂正則 次長兼教育総務課長

小池信仁 こども未来課長

水口恵子 社会教育文化財課長

岩本浩二 教育総務課副課長

小河秀義 教育部次長

中田 吏 学校教育課長

岡内由里 こども未来課長（指導担当）

中尾善弘 次長兼まちづくり推進課長

1 開会

中田教育長が開会した。

2 会議の成立宣言

出席者数5名となり、中田教育長が会議の成立を宣言した。

3 会議録署名委員の指名

署名委員は、中田教育長の指名により、中川委員に決定した。

4 前回会議録の承認

令和5年度第5回（定例）宍粟市教育委員会会議録の承認に関する件

前回の会議録について、大砂次長兼教育総務課長が説明し、承認された。

5 教育長報告

次の4点について、中田教育長が報告した。

（1） 9月議会上程議案の可決について

前回の会議で説明を行った9月議会へ上程した条例・補正予算案について、9月7日に可決された。

(2) 山崎南中学校区学校規模適正化に向けた対応について

8月29日に第1回の地区協議会を開催した。後ほど担当より報告する。

(3) 学校給食センター運営委員会の開催について

持続可能な学校給食を目ざして、昨年度より、委員からもいろいろなご意見をいただき、議論を深めているところだが、9月から10月にかけて、各センターの運営委員会、また、全体の運営委員会も開催し、引き続き、給食費の値上げを含めて検討していく。

(4) スポーツに関する事務の市長部局への移管について

今年の2月と7月に開催した総合教育会議において議論いただいたスポーツに関する事務の市長部局への移管について、今年の12月議会に条例案を上程する予定となったので報告する。

6 協議報告事項

(1) 山崎南中学校区学校規模適正化進捗状況について

資料1【1～12P】により、大砂次長兼教育総務課長が説明した。

(2) 宍粟市における小中一貫教育に係る取組と今後の予定について

資料2【13～18P】により、中田学校教育課長が説明した。

(3) 令和5年度「しそく学力向上推進プロジェクト」について

資料3【19～22P】により、中田学校教育課長が説明した。

委員の主な意見及び事務局の説明

(片山委員)

学力向上検討委員会の委員について、昨年から素晴らしいメンバーに参加いただいております。また、今年からは兵庫教育大の吉田先生にも参加いただくということでさらに期待が高まっている。また、学力学習状況調査の結果では、特に小学生の成績が上がっているということだが、点数のことだけではなく、こういったプロジェクトを通じて教員も指導をしていただくことで新しい授業づくりにも期待が持てると思う。

(中川委員)

昨年のフォーラムでは学力向上検討委員会の委員からいろいろな指摘があったと思うが、こうして少しずつでも成果が出ると現場の教員のやる気の向上につながると思うので、引き続き取り組んでいただきたい。

(金本委員)

この学力向上検討委員会の中で、家庭学習についてどのようにとらえられているのか、家庭学習を進めるうえでどのように取り組むべきか、そういった話があれば聞かせてい

ただきたい。

(中田教育長)

昨年、この委員会の志水委員長から「食欲は、基本的な食習慣、朝昼晩しっかりと食べることを繰り返すうちに生まれてくるように、学習意欲も、家庭での学習習慣をしつかりと身につけていくことで生まれてくる。」との話もあり、今年度の重点施策にも学習習慣を挙げている。子どもたちへの声掛けだけではなかなか難しいので、学校で家庭学習が充実するような手引きを作成し、また、小中一貫体制での取組、親子で読書する時間帯をつくる取組など、まだ手探りの段階であるが、どのように取り組んでいけば家庭学習が充実するか、いろいろな習慣づけを試みているなかで、子どもたち自らが机に向かうような取組を進めていきたい。

また、宍粟市の子どもたちは全国平均よりもゲーム等の娯楽に使う時間が多いとの結果が出ているので、特に中学生が家庭でスマートフォンを使う時間を自己コントロールができるようにする取組等もあわせて進めていきたい。

なかなか成果が表れにくいかもしれないが、引き続き検討する。

(中田学校教育課長)

宍粟市の子どもたちの家庭における1日あたりの勉強時間は、全国平均と比較すると低い状況となっているが、昨年度の調査からは小学生で4ポイント、中学生で5ポイント上昇している。先ほど教育長から説明のあった家庭での学習習慣につながるような取組について、引き続き検討していきたい。

また、読書時間についても、全国平均と比べると低い状況であるため、これについても対策を検討していきたい。

(金本委員)

10年ほど前の教育研究大会に保護者代表でパネルディスカッションに参加した。その時のテーマは「どうすれば子どもが勉強に取り組むのか。」といった内容で、家庭学習をするうえで一番大事なことは、家庭の雰囲気ではないかと話した。子どもが家に帰ったとき、父母が喧嘩している環境では勉強する気にもならない。家族が楽しい雰囲気で過ごしていれば勉強する気もおきるが、そうでなければ、家に帰ってもカバンをおいて直ぐに遊びに行きたくなってしまうのではないかと、そのような話をした。

家庭学習の基本的な部分として、こういった家庭の雰囲気が与える影響についても分析・検討していくことも大切かと思う。当時の資料があれば一度確認していただきたい。

(4) その他

● スポーツに関する事務の市長部局への移管について

当日配布資料により、今後のスケジュールや教育委員会としての意見等について、小河次長が説明した。

● 数学・理科甲子園ジュニア2023について

当日配布資料により、開催概要や市から参加した中学生の結果について、中田学校教育課長が説明した。

7 次回会議の招集について

令和5年10月16日(月) 午前9時30分から、宍粟市役所4階402・403会議室において、令和5年度第7回宍粟市教育委員会を開催することとした。

8 閉会

片山委員が閉会した。